

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 25日

事業所名 放課後等デイサービス れいる

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	40%	60%	0%	個室が足りない時もあるので仕切りが出来るの良いかもしれません。 個室がもう一つくらいあると集中できるのではないかと思います。 空間を有効的に使用しています。	個室の数が限られている中、工夫して対応していますが、パーティションやミニテント等の活用で個室に近い環境を増やしていきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	80%	20%	0%	個別対応が必要な状況が多いと人数が足りてなく感じたことがあった。	配置基準は満たしていますが、活動の内容も考え、対応しやすい状況を増やしていきたいです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	20%	60%	段差が多く、つまづいてしまうことが多いです。 新しい建物ではないため、制限があります。	段差を目立つようにしたり、簡易スロープなどを使用した対応で可能か相談します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	0%	100%	0%	出来る限り取り組んでいます。	毎月の事業所会議で振り返りを実施していますが、共通認識が出来ていなかったため、周知していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	60%	40%	0%	アンケートを年1回に実施し、その内容を参考にしています。 アンケートのみではなく、できるだけ要望に応えられるように努力しています。	アンケートで頂いた意見や日頃のやり取り等で知り得た情報を基に、日々、支援、環境作り等見直しをしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	40%	40%	20%	確認してませんでした。	評価の結果は毎年、ホームページと事業所玄関にて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	40%	40%		評価はしてもらっていませんが、連携法人の事業所から部門会議への参加をしてもらい意見をいただいています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	40%	0%	研修は参加できていますが、時間帯によって参加できない事も多いです。	時間帯を気にせず必要な研修に参画できるよう体制を作りたいと思います。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	面談や書面で聞き取るようにしています。	

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%	0%	出来る限り取り組んでいます。	放課後等デイサービス連絡会で作成した共通様式を使用して、追加情報が必要な場合は独自で把握していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	20%	0%	可能な限り協力して、意見を出し合い決めるようにしています。 どのような活動をすれば楽しんでもらえるか皆で話し合っています。	年間で必要な活動内容を会議で話し合い、毎月のプログラムに反映させています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	季節毎の行事等も考慮して活動を考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	60%	40%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	1人1人に合った課題や製作など相談して決めています。 1人1人に合わせて作成するように心がけています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	大まかな所は決めています。 毎日昼礼を行い、周知事項の確認や前日の振返りをしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	20%	20%	気付いたところを話し合うようにしています。 翌日の昼礼で行っています。	支援終了後に振返りが出来ないため、翌日の昼礼で打ち合わせも含め行い、共通理解に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	0%	気付きの報告が少ないと感じます。	気付いた点（ヒヤリハット、褒めたい事等）を話し合い、支援の向上に努めています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%	半年に1回、直接か書面でも希望を取り実施しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	60%	40%	0%		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」全てを組み合わせ支援しています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	60%	20%	20%	代表者のみ参加しています。	今後、担当職員を決めるなどして特定の職員のみではない参画も考えていきたいと思っています。	

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	60%	40%	0%	お迎え時に必要があれば確認したり、教えて頂くこともあります。 送迎時に取るようにしています。	必要に応じ、学校送迎時や相談支援専門員を介し、お子さんの情報共有をしています。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	60%	40%	現在、対応しているお子さんがいません。	受入れが出来る体制を整えていないですが、体制が取れた場合は、連携体制を作りたいと思います。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	20%	20%	60%	実施状況がわかりません。	会議等の開催をしていませんが、情報をいただくこともあります。相談支援専門員からも情報を得るようにしたいと思います。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	40%	60%	ないと思います。	小学生を対象としているので、障がい福祉サービスへの移行することは無いのですが、別の放課後等デイサービスへの移行時には、情報提供しています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	40%	20%		研修の機会を逃さないようにし、参画できるようにしたいです。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	20%	80%	設定していません。 必要性が今はないと思います。	保護者の方の意見を聞き取りながら、交流の機会の設定を考えていきたいと思っています。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	40%	40%	20%		放課後等デイサービス連絡会に、毎回参加しています。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	60%	40%	0%	活動の様子を写真で見てもらったり、送迎時口頭でも伝えていきます。 何かあった時には、その都度確認をしています。 経験を通して多様に考えています。	常に共有できるように心がけていますが、面談や日々の申送りに加え、共通理解を深められるツールを探したいと思います。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	60%	40%	保護者向けの研修なども企画できたら良いのではないかと思います。	ペアレントトレーニングの実施は出来ていないので、研修に参加するなどして進めていきたいです。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	60%	40%	0%	契約時に伝えていきます。 可能な限り、対応しています。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%	0%	申送りや連絡帳でのやり取りをしています。必要な場合は、電話で直接話をしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	20%	80%	開催が必要か確認していきたいです。	父母の会、保護者会の開催は実施していませんが、法人の児童部門合同交流会を4年ぶりに開催し、親子活動を行いました。今後、聞き取りをしながら開催方法を考えたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	20%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	0%	広報の発行や、連絡帳へ活動の様子を写真でお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	80%	20%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	20%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	0%	80%		事業所へ招待することはありませんが、地域活動へ参加し、事業所の存在を伝えていきます。
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	60%	40%	0%	保護者への周知はできていません。	マニュアルの作成はしてあり、職員への周知は出来ていますが、保護者の方への周知が不十分なので、周知方法を見直し発信していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%		

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	20%	80%	0%	現在、やむを得ない場面がないので記載はないです。	今後、対応が必要な場合もあるので、説明、了承、記載も視野に入れていきたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	40%	60%	0%	アレルギー表を作成し、いつでも確認できる位置に掲示しています。	アレルギー検査の結果を基に、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60%	40%	0%	事例集の作成は出来ていません。	昼礼などで事例を挙げ、職員間で検討しています。